

## 「今後の淀川水系流域委員会について(案)」検討の経緯

### 1 検討の経緯

日程	内容
9/30 委員会	・今後の流域委員会の具体的な内容について、少人数の検討会を設けて案を作成することが決まった。
10/29 委員会	・検討会メンバーが決定
11/4 検討会	・第1回検討会開催
11/10 検討会	・第2回検討会開催(河川管理者との意見交換を踏まえ、検討会案を固める)
11/12～11/20	・「今後の淀川水系流域委員会について(検討会案031112版)」を委員に送付し、意見を求めた(提出された意見は下記参照)。
11/26 運営会議	・提出された意見を踏まえ、検討した結果、検討会案031112版の内容を12/9委員会に提出することに決まった。

### 2 「今後の淀川水系流域委員会について(検討会案031112版)」に対する委員からの意見

和田委員

検討会案に対しての修正意見はありません。

但し、これまでの経験から以下のような補足システムが必要かと思われます。

「新委員は流域について現場を知ることが必要です。また、色々な判断をするための、広い知識が必要となります。」

このためにこれまでの委員であった人や専門家に気楽に質問し、勉強できるようなネットワークシステムを用意しておくことが重要かと考えました。御検討いただければ幸いです。私自身は現在のプロジェクトで現場を見て歩いておりますので、協力できると思います。

池淵委員

新流域委員会のイメージ「1.設置目的」の事業評価監視委員会の機能を兼ねるとありますが、現在設置されているものとの関係はどのように考えられているのでしょうか。

以上